

「過去の伊豆半島地域会議で提案された取組について」に係る事前意見

【NPO 法人いとう子育てネットワーク・ゆう】

若者から見た伊豆の魅力や興味を盛り込んだ大学生ツアーは、良い取り組みだと思います。地元に住んでいる人には気づかない視点で、若者の感性を生かしたところは、同世代に共感されることでしょう。

【社会福祉法人梓友会】

Youtube や zoom 等を活用した学生目線のコンテンツは、従来の情報発信に比べ若者に刺さる内容になっていると感じます。

県内都市部地域の学生をターゲットとするのか、ツアーを企画した学生の友人なのか、首都圏の学生なのか、ターゲットを絞った上で、デザインやコンテンツ、広告媒体を最適化するとさらに効果が高まるのではないのでしょうか。

【静岡銀行】

県内大学が連携した取り組みであり、地域振興・他世代交流・観光人材育成等において有意義と考える。四国においては、大学生考案ツアーを JR が実施した事例もあり、ツアー会社との連携や県外大学生への対象拡大等による発展に期待したい。

【スルガ銀行】

大変、良い企画だと思料します。但し、天候やコロナ等で中止やリアルツアーではなく、オンラインツアーとなったことは残念でした。

内容については、静岡県で生活する若い方が、リアルな目線での案内、感想等を発信しており魅力あるものになっていると感じます。令和5年2月にリアルツアーが開催されるとのことですので、是非、その映像等を多くの方に周知し、視聴していただけるような取り組みをお願いいたします。

【静岡中央銀行】

非常に良い取組だと感じました。

【三島信用金庫】

コロナ禍活動が難しかったと思いますが、行動規制が緩和する中、実地での活動を期待します。

【伊豆新聞本社】

「若旅イン賀茂キャン」は当初から注目していた。会議での本田圭美さんの報告で、悪天候で実施できなかったことが残念でならなかった。しかし、その後も本田さんが提唱した自然、文化などに加え、人を観光資源として活用するコンセプトが継承されていることを評価したい。コロナ禍でもオンラインツアーを実施し、さらにリアルツアーを実施することは座学か

ら実習のような流れで、良い試みだと思う。

若者に伊豆を好きになってもらう、ファンになってもらえば、リピーターとして、思い入れのある情報発信者として末永い付き合いができる。これからも賀茂地域の魅力を大学生に理解、体験してもらい、地域の人々との繋がりを深める「若旅イン賀茂キャン」の継続と充実を強く要望したい。

【伊豆市】

伊豆半島の魅力や観光資源を若者世代（大学生）が、実際に体験し発信する取り組みは素晴らしいと思う。近年は、コロナ禍によりリアルツアーが開催できなかったが、2月に開催予定であるリアルツアー「賀茂、いいカモ。」には期待している。

当市においても、同様の取り組みをする際、情報発信に苦慮している。本取組についても、YouTube 再生回数は約100回程度と伸び悩んでいるようなので、伊豆半島の関係人口を増やすための情報発信方法が今後のカギであると思う。